

PATHMANAGER に Pseudo Wire 監視機能をオプション追加

業界初、「MPLS¹ 網上の ATM² 疑似回線(Pseudo Wire)を監視する機能」を搭載

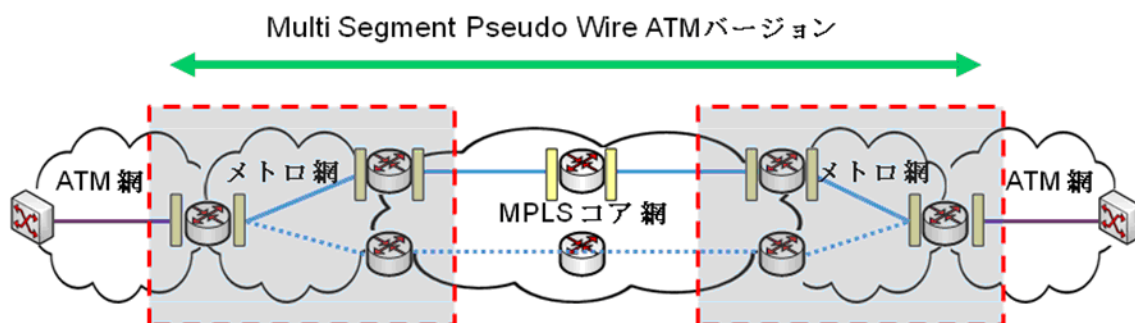
IT ホールディンググループの株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：高岡利光、以下クラウド・スコープ・テクノロジーズ）は、
『**PATHMANAGER Pseudo Wire** モジュール(ATMバージョン)』を本日より提供開始いたします。

PATHMANAGER Pseudo Wire (ATMバージョン) の開発背景

大手通信事業者や大規模ネットワークを保有されている法人などでは、従来 ATM 回線を利用してきましたが、同回線を維持したままでは抜本的なコスト削減を行えませんでした。一方、近年、ネットワーク上のサービスは増え続け、それに応じて回線数を増やさなければならず、コストがますます嵩んでいく状況にありました。

ここ数年、ATM などの従来回線を MPLS 上で伝送する技術が注目されています。サービスごとに構築していたインフラから、1つのインフラで複数のサービスを提供することでコスト削減が可能になるからです。これを実現する技術が「疑似回線 (Pseudo Wire)」なのです。

しかしながら従来の ATM 監視・管理システムでは Pseudo Wire の監視・管理を行えません。そこで、クラウド・スコープ・テクノロジーズでは、MPLS 監視、IP VPN 監視、異網冗長監視で培った技術をベースに Pseudo Wire の監視・管理を行うシステムの開発を進めてきました。



図：PATHMANAGER Pseudo Wire

新規開発部分（網掛部分）と監視・管理可能な部分（矢印範囲）のイメージ

¹ MPLS: Multi Protocol Label Switching は、ラベルを用いて高速にパケットを転送する通信方式で、データ転送を高速・大容量化するために開発されました。

² ATM: Asynchronous Transfer Mode (非同期転送モード)、音声、データ、画像など、どんなデータでも一つのネットワークで効率よく送れるように作られた転送方法。マルチメディアに適した方式と言える。データは、53バイトの短く一定の長さのデータに分けられるため、データを詰める時間や読み取り時間が短く、高速転送に適しています。

PATHMANAGER Pseudo Wire (ATM バージョン) 機能の特徴

Pseudo Wire モジュールは、**PATHMANAGER** の特徴である簡易な GUI 操作と、種々のネットワークプロトコル階層にまたがるネットワークリソースの強力な分析機能を Pseudo Wire レイヤーで提供します。

これにより、ネットワーク上の「サービス」から「ネットワークセッション、パス、回線」、そして「ネットワーク機器」に至るまで関連するネットワーク上のリソースの『見える化』が行えるようになります。

更に、MPLS LSP の同一パス上で ATM 回線が複数の Pseudo Wire 回線に分断されるマルチセグメント Pseudo Wire の監視にも世界でいち早く対応しました。

これにより、コア網、メトロ網、アクセス網など、複数の運用拠点に分かれてネットワークを監視・管理できる機能を提供することに成功しました。

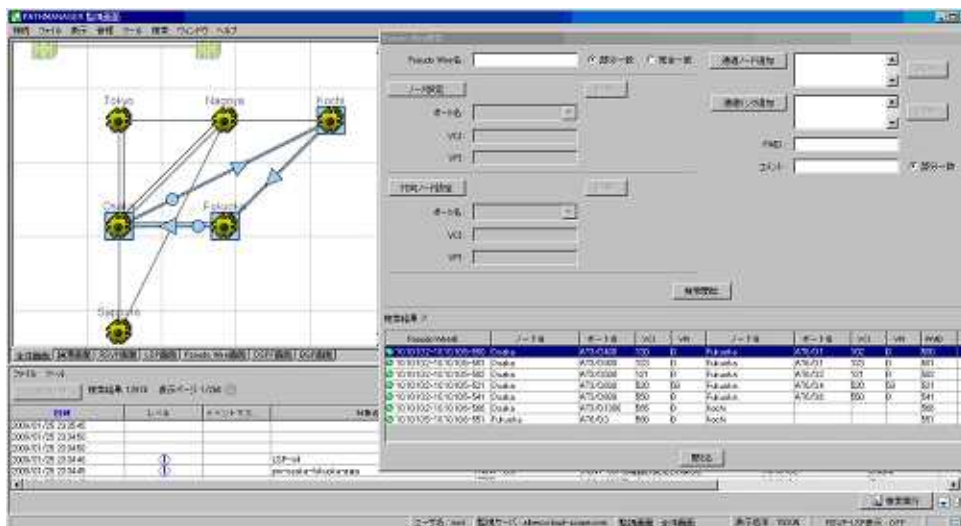


図 : **PATHMANAGER** Pseudo Wire 回線の検索結果の表示画面例

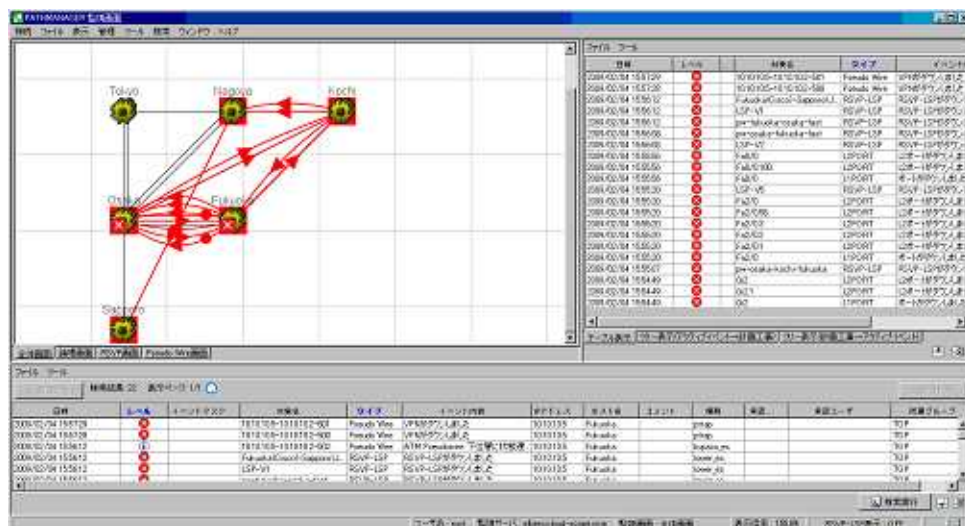


図 : **PATHMANAGER** Pseudo Wire 回線の障害時の表示画面例

クラウド・スコープ・テクノロジーズについて

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、株式会社インテック・ネットコア（本社：東京都江東区、代表取締役社長：荒野高志）が開発・販売してきた次世代のネットワーク管理・監視・分析システム **PATHMANAGER** の移管を受け、2008年7月1日に設立しました。 **PATHMANAGER** は、MPLS ネットワークの管理・監視システムで国内最大シェアですが、それ以外の機能も順次開発する予定です。IPVPN、P2MP、ネットワーク AB 面の関連付け監視機能、ネットワーク帯域監視機能、シミュレーション機能はリリース済みで、近々VLAN 監視、サーバ監視機能などをリリース予定で順次対応していきます。

PATHMANAGER について

PATHMANAGER は、ネットワーク上の「サービス」から「ネットワークセッション、パス、回線」、そして「ネットワーク機器」に至るまで関連するネットワーク上のリソースを『見える化』し、ネットワークサービスの設計時や障害発生時に必要なネットワークリソースを視覚的にわかりやすく操作できる管理・監視・分析システムです。

マルチベンダのネットワーク装置で構成されるネットワークを一元的に管理・監視・分析できる「**End to End の見える化**」を提供します。

サービス、ネットワークのパスやセッション、ネットワーク装置の関連性を一元的に管理・監視・分析できる「**Top to Bottom の見える化**」を提供します。

PATHMANAGER をご利用いただくことにより、オペレーションミス、判断ミスを極力少なくし、ネットワークサービスの運用コスト削減や、ネットワークサービスの質を高く保っていただけるようになります。

本件に関するお問合せ 株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ 営業部 TEL : 03-3403-8321 E-Mail : cloud-info@cloud-scope.com Web : http://www.cloud-scope.com/
